令和6年９月19日

会員各位

（一社）神戸市機械金属工業会

技術交流部会長　太田　稔宏

**『TOC(制約条件の理論)研修』**

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日程 | 令和６年11月１9日(火)　9時～18時　　20日(水)　9時～17時　　2日間コース |
| 定員 | （先着）24名 |
| 対象者 | 生産管理、製造現場、品質、経理、総務、そして経営者、チーム3名～5名での参加を推奨します。 |
| 実施場所 | 神戸市産業振興センター　9Ｆ　904・5号室　(ＪＲ神戸駅より徒歩6分程) |
| 受講料 | 10,000円/名（資料/お昼の弁当※2日間/交流会費用を含む）●1日目の研修後(18時以降)に参加者や先生方との交流会をご用意します。参加は任意ですので交流会への参加有無を記入ください。●キャンセル返金は3日前以降、受け付けられませんのでご注意ください。 |
| お問合せ | 神戸市機械金属工業会事務局　　担当：北芝、寺尾　TEL078-360-3260 |
| お申込み | 2枚目に表示のFormsから、又は3枚目の申込書でお願い致します。　 |

コース概要

サイコロとチップを使った工場運営ゲームを通してTOC理論を学びます。ボトルネック（制約条件）が利益を阻害する仕組みや、全体最適、業務効率の向上、利益最大化を実現する為のプロセスを学ぶ研修です

・こんな会議は嫌だ（アイスブレイク）

・戦略MQ会計の講義

・TOCゲ―ムと決算とディスカッション

・TOCの講義
DBR理論　バッファの位置と量　SDBR理論　CCPM等

・業務フロー作成/改善/発表

・まとめ講義

コース内容

講師

コメント

講師：原　太雅先生（TAGAIWORKS）/

現場ではみんな一生懸命に働いているのに状況は悪くなるばかり！問題解決を図っているのに一向に良くならない！それ、そもそも 考え方、やり方 が間違っているかもしれません。この研修で今までの常識をぶっ壊します！

講師：田中　滉一郎先生（株式会社JQUALIA）

よかれの思いで、目の前の仕事をガムシャラに頑張っているのに、会社が全然良くならない。そればかりか忙しすぎて現場は疲弊する一方。誰も幸せになっていない。私自身こんな経験をしました。ところが、ちょっとした勘違いに気づくだけで現場が改善します！そんな気づきを得られるのがTOCです！

TOC(制約条件の理論)研修 　研修申込書

この研修を受ける前と

受講後の効果の一部を紹介します。

|  |
| --- |
| ●儲かってないのにいつも時間がないと感じる |
| ●売上減、キャッシュ減で緊急対策を要する |
| ●「在庫」や「余計な仕事」がどんどん増えて、儲かっていると全然感じられない |
| ●いつも計画や納期が遅れるのが当たり前の |
| ●長期間の滞留在庫を見て見ぬふりをしている |
| ⇒時間が増えて残業がなくなり社員の気持ちに余裕が出ます。 |
| ⇒品切れが不安な営業と、在庫増が不安な経理の両者が喜びます。 |
| ⇒在庫で眠るお金が減り、目に見えてキャッシュが増えます。 |
| ⇒在庫は減っているのに売れる商品が増えます。 |

お申込は下記のForms又は3枚目の申込書でお願い致します

<https://forms.office.com/r/zZsyBNXAnb>



Forms入力はお手数ですが1人分ずつ入力をお願いいたします。

**応募締切：令和6年10月11日（金）**ただし、先着順で定員になり次第終了となります。

「TOC(制約条件の理論)」申込書

令和　　年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ｎo. |  | 所属部署/役職 | 1日目夜の交流会 |
| １ |  |  | 参加・不参加 |
| 2 |  |  | 参加・不参加 |
| 3 |  |  | 参加・不参加 |
| 4 |  |  | 参加・不参加 |
| 5 |  |  | 参加・不参加 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 |  |
| 所在地 | 〒　　－ |
| 担当者名 | 所属部署 |  | ＴＥＬ |  |
|  |
| 申込確認メールをしますので、**メールアドレス**をご記入ください→ | 　　＠ |

セミナー申込書は

FAX　078-360-1457又は

kitashiba@kobekk.or.jp　（事務局北芝）までメールでお送りください。

**応募締切：令和6年10月11日（金）**ただし、先着順で定員になり次第終了となります。

来年以降の受講料の改定を検討しております。今回の”TOC
（制約条件の理論）研修”に関して、受け入れ可能な受講料の限度額についてお尋ねします。

チェックお願いします。

* 10,000円（原稿通り）
* 12,000円
* 14,000円
* 16,000円
* 18,000円
* 20,000円